

公共事業環境配慮書

建設部 砂防課

事業名称		
事業名	火山砂防事業	
整理番号	23-9	
事業の種類	砂防堰堤の建設	
市町村名	北安曇郡小谷村	
箇所名	(砂)樽池沢(千国乙12844-2他)	
事業年度	平成23年度～32年度	
事業概要		
目的	砂防堰堤の設置により、下流域の人家や公共施設、道路等の保全を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤 2基(樽池沢堰堤H=14.5m L=178.0m、はんのき沢堰堤H=9.5m L=100.5m)	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地	
その他	なし	
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	事業の保全区域内に県道千国北城線が位置する 夏の観光シーズンには樽池高原への観光車両により、冬は樽池スキー場への車両により交通量が増加する。	
土地利用の現況	山地・丘陵である	
生活関連施設の現況	事業の保全区域内に広域避難所の樽池社会体育館や避難所の樽池高原総合センターがある。	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	【大気汚染の防止】	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
水環境	留意すべき地域の概況	農業用水用のため池が近くにある。
		【水質汚濁の防止】
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
【水循環の保全】		・河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。
地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	
	・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。		
・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		
野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である
		【野生動植物の生息・生育空間の保全】
	・動物の移動経路の分断を出来るだけ避ける又は新たな移動経路を確保する。	
	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
・落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負荷の少ない構造を検討する。		

景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。 ・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 	
廃棄物・建設残土	【良好な景観の育成】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。 	
	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 	
【資源の有効利用】		再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。
【環境への負荷の少ない機械の利用等】		アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。
		点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	文化財等	<ul style="list-style-type: none"> ①地域を定めず指定されている天然記念物への配慮が必要と思われるので、確認願います。 ②工事用車両等の付帯工事箇所を含めた埋蔵文化財包蔵地の有無を事前に確認願います。 	<ul style="list-style-type: none"> ①小谷村教育委員会に照会したところ、地域を定めず指定されている天然記念物は確認されませんでした。 ②小谷村教育委員会に照会したところ、砂防設備設置予定範囲及び工事用道路等の付帯工事箇所を含めた範囲に埋蔵文化財包蔵地は無いことを確認しました。